

学校コンセプト

自分らしさを
えがくがっこう



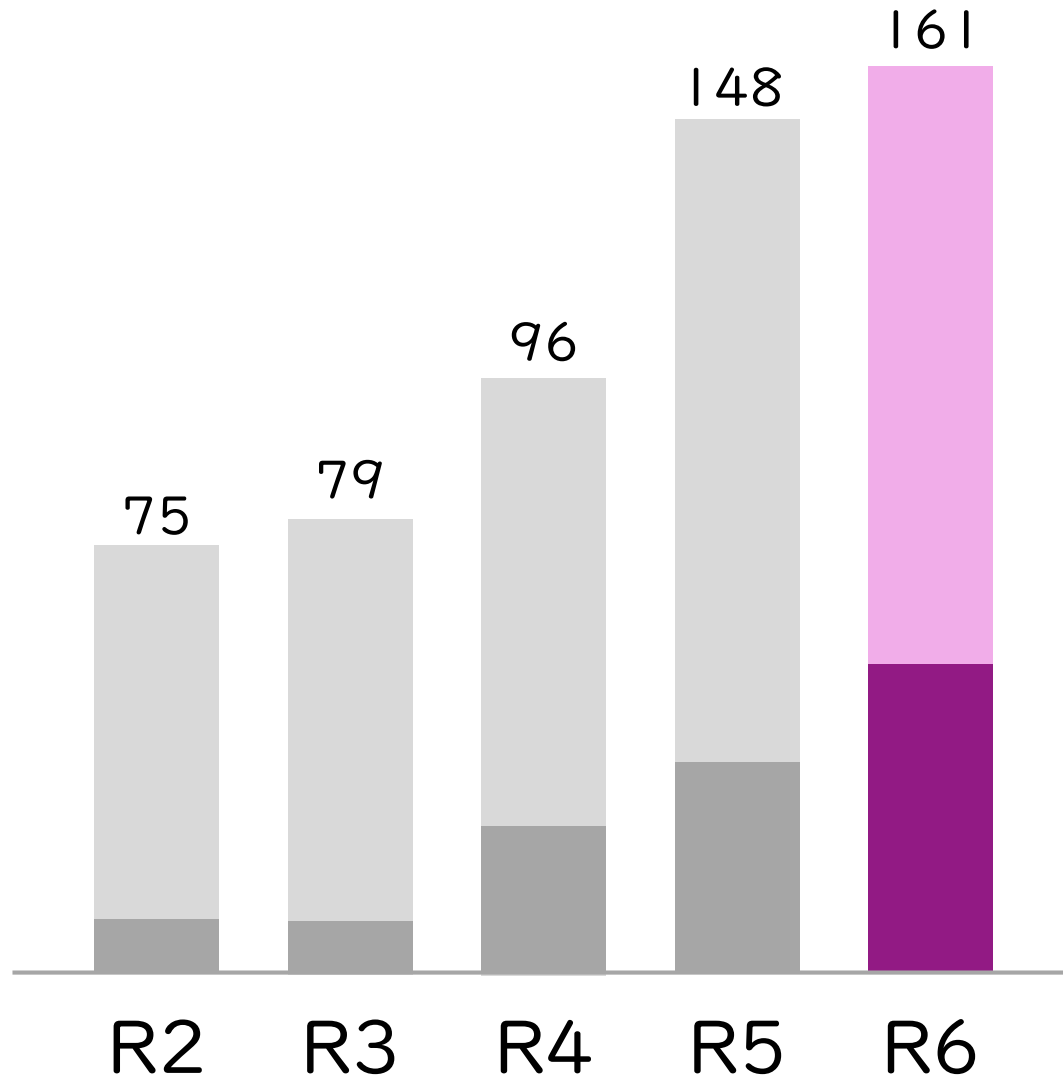
(仮称)
むつ市立学びの多様化学校
市民説明会



2026.2.24
むつ市教育委員会



むつ市不登校の推移



令和6年度

小学校の新規不登校児童**増加**

不登校児童の若年化
問題の長期化

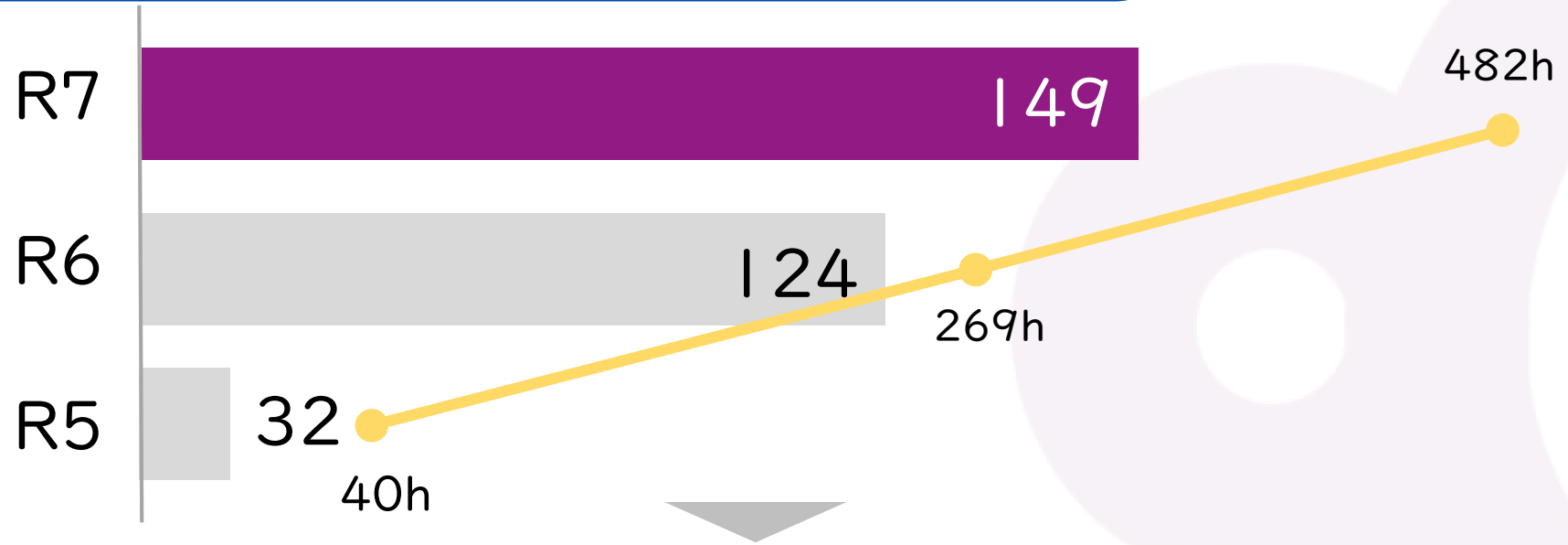
中学校の新規不登校生徒**減少**

不登校の取組が推進
対応、支援のスキルを横展開

教育支援センターの利用状況



ある月の延人数・利用時間の推移



	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
人数	0	1	1	1	0	0	11	5	14
合計	3						30		

むつ市 多様な学びの場 全体図



前提

教育支援センター

学校復帰に向けて
エネルギーを蓄える活動
在籍校と連携した支援
教育相談員のアウトリーチ支援



R8.12.1~新センター運用開始

メタバス教育支援センター

誰かと
つながる
きっかけ
づくり



小・中学校

不登校のこどもたちは
心から在籍校で学びたい

こどもの思いを最優先



発達支持的生徒指導の推進
魅力ある学校づくり
不登校支援の充実
校内支援センターの環境整備

むつ市の
多様な学びの場の保障

不登校対応
の役割明確化

むつ市の 5 多様な学びの場 全体図


学びの多様化学校


「もう一つ」の選択肢としての
多様な学びの場



少人数なら学べる
自分のペースでゆっくり学ぶ
「学校」に通える喜びを実感

今回のご説明



- ① 学びの多様化学校の概要
 - ② 本校での学び
 - ③ 通学支援
 - ④ 転入学の流れ
 - ⑤ スタッフについて
- 

学びの多様化学校の概要



Topic 1

(仮称)むつ市立学びの多様化学校の概要

学校コンセプト

自分らしさを
えがくがっこう



学校コンセプト

自分らしさをえがくがっこう

こどもたちのありのままを受けいれ
一人ひとりのペースでじっくりすごし
自分の「すき」「とくい」をのばす

学校名 未定

正式名称:むつ市立〇〇〇小・中学校
愛称:(例)むつ〇〇〇学園

学校 小・中併置型での開校

小学生と中学生が同じ校舎で学びます
異学年で学ぶ・過ごすよさをいかした学び

開校 令和9年4月1日

登校:4月中旬~下旬を予定
受け入れ体制をしっかりと整えてこどもたち
を迎えます

校舎について



アクセス

市役所から13km 20分

- 大畑庁舎から 27km 33分
- 川内小・中から37km 50分
- 脇野沢小中から54km 75分



開校場所

奥内小学校 閉校後の学校を活用

区域外

- 東通村から 21km 24分
- 風間浦村から 48km 57分
- 大間町から 58km 70分
- 佐井村から 70km 85分
- 横浜町から 15km 18分

校舎内のイメージ

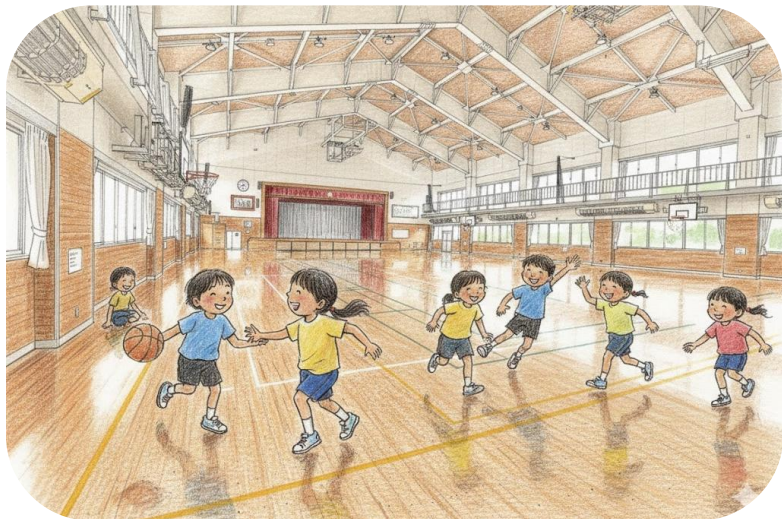
学校コンセプト

自分らしさ

をえがくがっこう



10



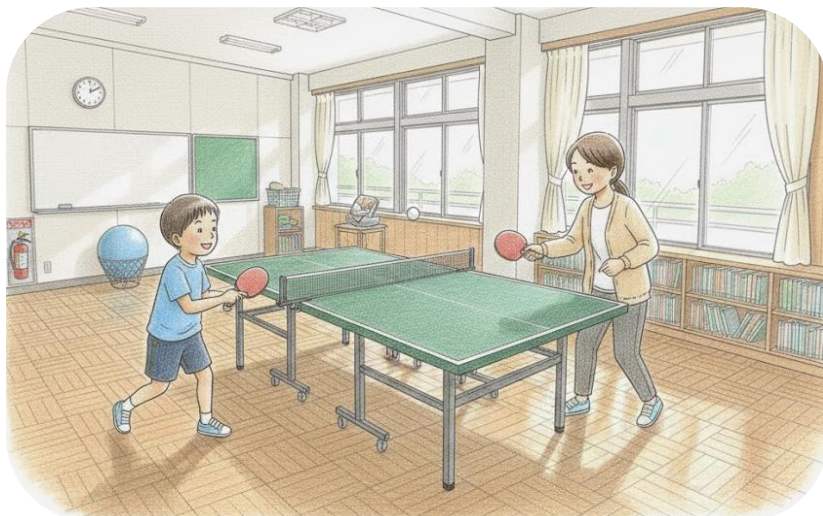
木を基調とした伸び伸びとした空間



校舎センターのホールでじっくり学ぶ



オープンスペースでゆったり活動



小学生・中学生がいりまじって活動



自然いっぱいの空間で体験活動

学校名

令和8年度中に決定します

学校名

未定（むつ市立〇〇〇小学校・〇〇〇中学校）
愛称（むつ〇〇〇学園）

学校名決定の流れ

校名案を公募、ヒアリング後、教育委員会で決裁

市民からの公募

SNS・広報等で
校名案を募る

ヒアリング
集まった校名案
意見を聴取
こどもの意見反映

設置検討委員会

設置検討委員会
等で候補を絞る

教育委員会
会議で決定

スケジュール

令和8年春ごろ	学校名を募集
令和8年夏ごろ	校名案を決定
令和8年秋ごろ	議会で承認いただく

あなたの
ありのまま
をうけいれ

あなたの
自分らしさ
をえがくがっこう

令和9年度開校の
むつ市の学びの多様化学校

学校名募集

応募
4/30
締切

応募内容 学校名と愛称を募集します

学校名（正式名称）：むつ市立〇〇〇小学校・〇〇〇中学校
 愛称：△△△（例：△△△学園、学び舎△△△、△△△学校）
 在籍するこども・保護者・地域の方々に親しまれるよう
 正式名称とともに愛称もつけます。

応募方法 どなたでも応募できます

【オンライン】二次元コードから応募
 【直接応募】市役所内学校教育課にある応募箱に投函

選定方法 以下の流れで決定します

応募された校名は、設置検討委員会で候補を絞りめます。
 候補の中から教育委員会会議で協議の上、決定します。

その他

ご応募いただいた方の個人情報については、
 校名募集に関する以外には使用いたしません。
 採用された校名の権利は、むつ市およびむつ市教育委員会に帰属します。

むつ市教育委員会
学校教育課

むつ市中央1丁目8-1
むつ市役所内

校名案は、右のQRコードから応募してください

電話 **0175-22-1111** (内線3138)
 <開庁時間> 8:30~17:15

メール **mt-gakko@city.mutsu.lg.jp**



むつ市教育委員会
学校教育課 宛

(仮称)
**令和9年度開校
むつ市立学びの多様化学校
校名応募用紙**

校名・愛称についてお伺いします。		
ふりがな	むつしりつ	しょう・ちゅうがっこう
校名	むつ市立	小・中学校
ふりがな		
通称(愛称)		
校名・通称(愛称) にこめた思い		
応募者についてお伺いします。		
ふりがな		年齢
応募者氏名		
住所		
電話番号		

※ご応募いただいた方の個人情報については、校名募集に関する以外には使用いたしません。
 ※採用された校名の権利は、むつ市およびむつ市教育委員会に帰属します。

応募方法 次の①~②のいずれかの方法でご応募ください。

- ①二次元コードから応募（右のコードを読み取ってください。）
- ②学校教育課カウンターに設置の応募箱に応募用紙を投函



定員のめやす・対象者

定員

少人数の学びが
可能となる定員を
想定している

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
人数	8		8		8		10	10	10
合計	24						30		
	54								

対象者

①おつ市在住またはおつ市内小中学校に通学する
小学校1学年～中学校3学年児童生徒

→1回目：おつ市在住・おつ市内学校通学者 2回目：+おつ市外在住者

②不登校状態もしくは不登校傾向にあること

③児童生徒・保護者両方に入学・転学の意欲がある

①～③の者のうち、教育委員会内の転入学支援委員会で適当と判断された者

本校での学び



Topic 2

学校コンセプト

自分らしさ

をえがくがっこう



を実現するために

ゆったりとした授業時数

ゆったり・じっくり学ぶことができるよう
年間1015時間から770時間に凝縮
1日4時間学習で

(小5~中3)

エネルギーをためます

チーム担任制

学校のスタッフ全員でこどもたちを支援
多様な価値観と出逢えるような環境



考える・きめる・やってみる学び

体験的な学びを重視した学びを展開
自分の「好き」「とくい」を伸ばせる学び

余裕のある登下校時刻

9:30 登校 14:30下校

心に余裕をもって登校

次の日のエネルギーを残して下校

ゆったりとした授業時数 (案) (例) 中学校

現行の指導要領上の教科・領域等

本校の新教科

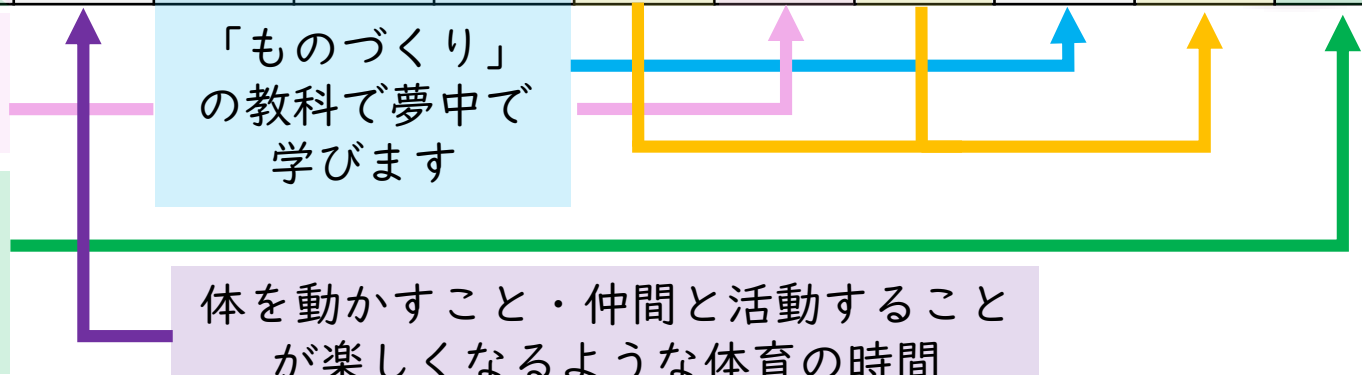
	各教科の授業時数									特別の教科道徳	きわめる(総合)	特別活動	ものづくり	つどい・かたり	〇〇タイム	総授業時数
	国語	社会	数学	理科	外国語	保健体育	音楽	美術	技術・家庭							
本校	105	70	105	70	70	105	0	0	0	0	70	0	70	35	70	770
現行	140	105	140	105	140	105	45	45	70	35	50	35	0	0	0	1015

週1・2コマ減らして
総合的な学習の時間と関連

「ものづくり」
の教科で夢中で
学びます

自分で学びを選び、自分のペースで
じっくり学ぶ
進路に向けて重点的に学ぶ

体を動かすこと・仲間と活動すること
が楽しくなるような体育の時間



つどい・かたり



朝登校したら
こどもと先生が面談
1日の活動を決めます

こどもが集い
対話をとおして
考える・決める
学びの時間

〇〇タイム



自分で学ぶことを選び
自分のペースで
じっくり学びます

前の学習に戻ったり
先の学習に進んだり

安心して学びに向かう
時間です

きわめる (総合)



こどもたちが
夢中になって
自分の「すき」
自分の「とくい」
を伸ばす時間

自分の「問い」を
夢中になりながら
学ぶ時間

ものづくり

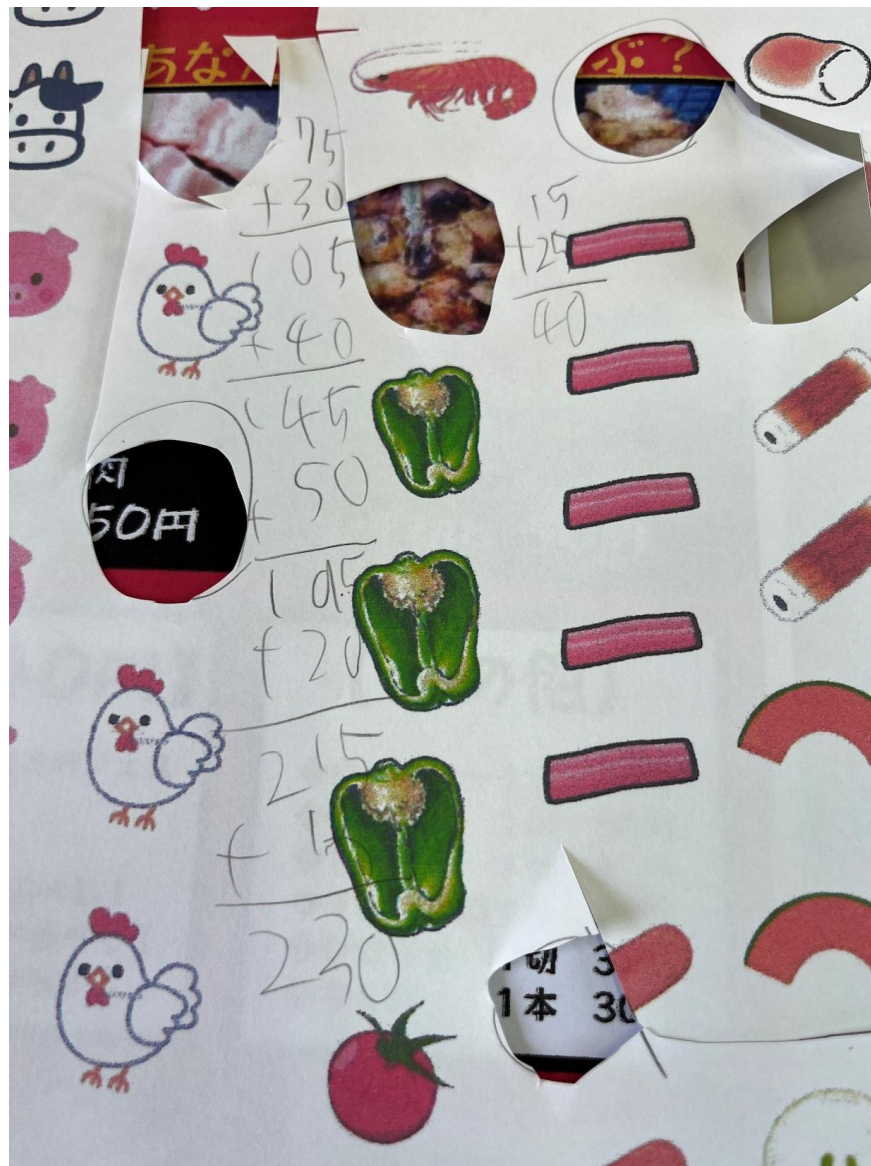


こどもたちが
手や体を動かし
五感をフルに使って
ものづくり、創造する
時間

図工、美術、音楽、技術
家庭科、栽培活動等を
あわせた時間

体験を大切にした教科の学び・主体的な活動でこどもの「よさ」を伸ばす

学びのアプローチ



実生活・環境

↓ ↑
学び

考える

決める

やってみる

数への気付き

学びの必然性

1日の生活の流れ

登校



朝 9:30登校

ゆっくりの
登校時刻で
心に余裕をもって
登校します

ウォーミングアップ



1日を見通す

こどもと先生が
面談します
1日の
スケジュールを
たてます

学びの時間



体験的な学び

こどものペース
体験的な学びで
エネルギーを
ためる

クールダウン



1日を振り返る

1日の最後に
こどもと先生が
対話をし
1日を
ふりかえります

下校



14:30下校

はやめの
下校時刻で
次の日の
エネルギーを
残して帰ります

「考える」「きめる」「やってみる」のプロセスを大切にした教育活動

1 週間の生活の流れ・デイプログラム

時程	時間	月	火	水	木	金
9:30 登校						
Warm-UP	9:30-9:45			つどい・かたり		
1	9:50-10:35			まなび 1		
2	10:40-11:25			まなび 2		
3	11:30-12:15			まなび 3		
昼	12:15-13:15			ランチタイム(給食)・あそび		
4	13:20-14:05			まなび 4		
Cool-Down	14:05-14:20			クールダウン		
14:30下校						

(活動例)
ボランティア
清掃

ウォーミングアップ、クールダウンで子ども一人ひとりに寄り添います
子どもと教職員が対話し、柔軟に学べるような優しい時間割です

スタッフの1日の動き・関係機関との連携

ミーティング

8:15-9:30



シフト、時間割等支援の
ミーティング
こどもを余裕をもって
迎えらるるような準備

福祉、関係機関との連携

始業～終業

9:30-14:30



一人一人の得意なこと、好きなこと
を伸ばす支援・教育活動
体験的な学びの実施

▲支援方法を一緒に考える

ケース会議、保護者の支援▶

カンファレンス

14:30-16:45



次の日の支援にいかすため
のカンファレンスの実施
こどもの実態に応じた
教材研究
家庭訪問、保護者面談
ケース会議

年間行事

あらかじめ行事を設定しない「余裕」「余白」のある1年

コンセプト

こどもが「～したい」「～できる」を支援する自律的・自発的な行事の計画
考える（話合い）→決める（自己決定・折り合い）→やってみる（為す）

のスパイラルでエネルギーをためる

年間行事のイメージ

1 学期

2 学期

3 学期

4月

7月

8月

10月

12月

1月

3月

開校式 はじまり
のつどい

保護者
面談

夏の
つどい

〇〇
フェスティバル

保護者
面談

冬の
つどい

保護者
面談

卒業式

2・3か月に1回（通年）

定期教育相談

転入学児童生徒体験入学・面談

教育支援センターとの交流・情報交換

副教材・定期テスト・学力テスト

副教材

一人ひとりにあった教材を選びます。

とくいなこと、好きなことをのばせるようにします

学力テスト・定期テスト

一律一斉に実施しません。
児童生徒一人ひとりと対話して実施を決めます。

自分の学びを振り返られるようにします
自分が変化や成長を味わわせるようにします

「希望制」とする 本人の求めに応じて個別に対応する
一律一斉の実施・計画はしない

方針

下記の目的で通信票を作成します

目的

こどもが自分の変容や成長を自覚できる取組
保護者も我が子の変容や成長を味わう

- ・ こどもの「よさ」「得意」「次への目標」の共有

日常的な取組

日常的なコミュニケーション・綿密かつ素早い電話連絡

教育相談・保護者面談の充実

学校DX（学ポケ・Google等）を活用した丁寧な連絡

通学支援

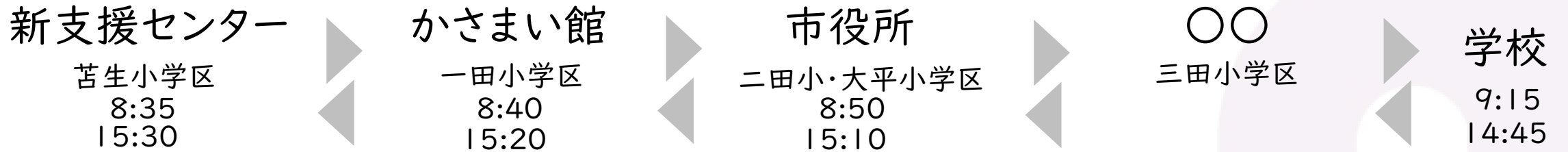


Topic 3

通学支援 (案) 2026.1現在

通学方法 市内中心部循環スクールバス・保護者の送迎・公共交通機関

市内中心部スクールバスイメージ 市内を循環するバスを1本配車



軒のある公共施設・見守りがある環境・小中学校と程よい距離感がある停留所を選定

公共交通機関(参考)

公共交通機関の併用

下北交通

	むつ	奥内
野辺地線下り②	10:25	10:46
野辺地線下り③	12:15	12:35
	奥内	むつ
野辺地線上り③	10:37	10:59
野辺地線上り④	13:17	13:39

	横浜	奥内
野辺地線上り②	8:14	8:37
野辺地線上り③	10:14	10:37
	奥内	横浜
野辺地線下り③	12:35	14:45
野辺地線下り④	14:45	15:08

JR大湊線

横浜	近川	下北	近川
8:36	8:48	8:09	8:24
近川	横浜	近川	下北
14:31	14:43	13:43	13:57

想定ルート(案)



むつ市役所
8:50 / 15:15



かさい館
8:40 / 15:25

新支援センター
8:35 / 15:30



三田小学区
9:00 / 15:05

停留所の選定

配車時刻前後に
開館している施設

有事の際に
ヘルプできる環境

在籍校から程よく
距離感がある

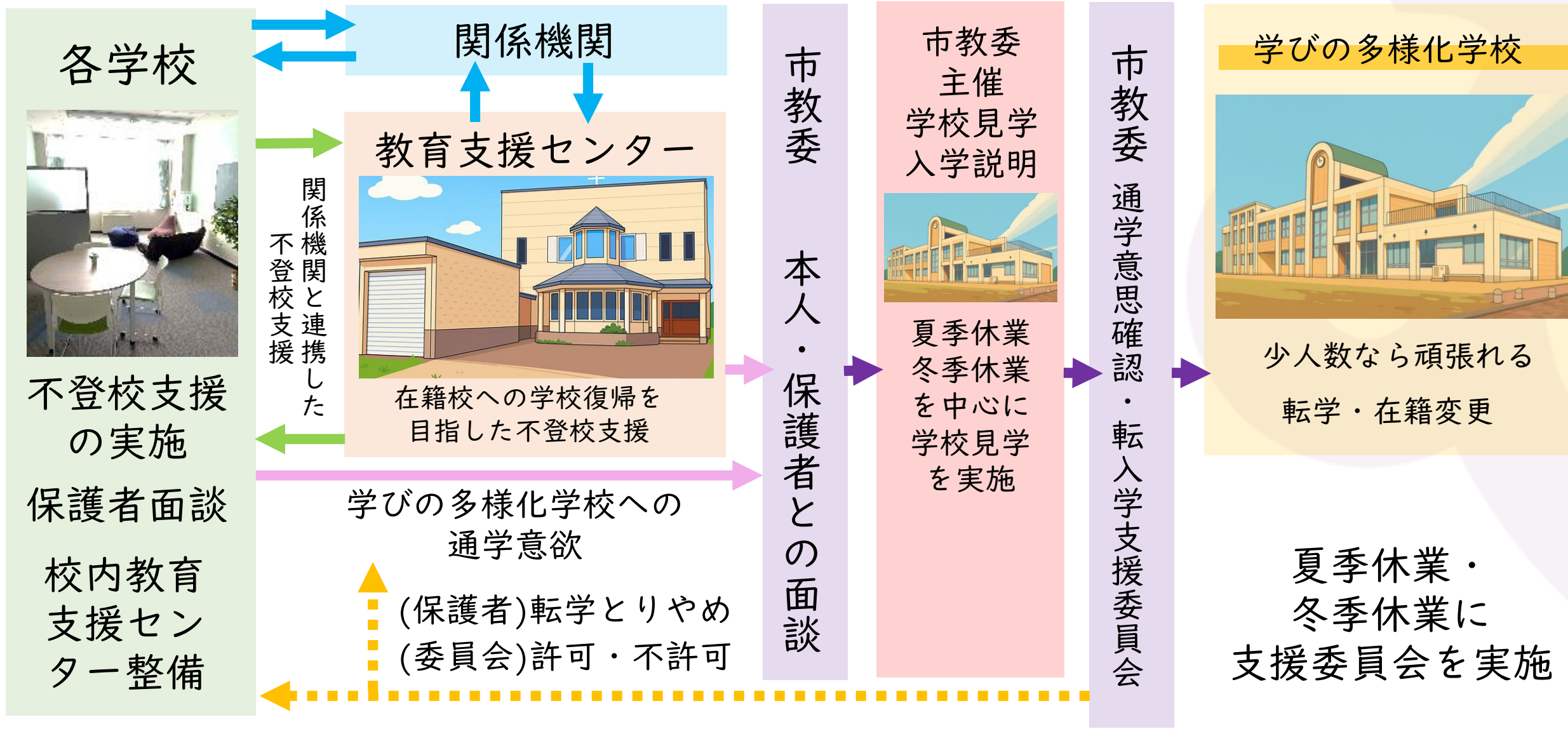
北通・西通からの
接続を考慮



転入学の流れ



Topic 4



学びの多様化学校設置までのスケジュール

体験入学

30

令和7年度

令和8年度

冬

市民への説明会
広報むつでのお知らせ

むつ市内在住 もしくは
むつ市内小中学校通学者

5月

入学説明会

8月

見学・体験入学

8月

転入学支援委員会

9月

転学児童生徒把握

左記の者に加えて
むつ市外在住の小中学生

8月

入学説明会②

9・10月

見学・体験入学②

11月

転入学支援委員会

12月

転学児童生徒把握

3月

内覧会
1日入学

令和9年度

4月

開校
開校式

スタッフについて



Topic 5

学びの多様化学校のスタッフ

教職員

小・中学校の先生方が配置となります

	県費負担教職員					市職員（会計年度）		
	校長	教頭	教員	養護教諭	事務職員	小中一貫支援員	小中一貫SC	用務員
人数	1	小1 中1	小3 中6	1	1	4	1	1
合計	14					6		

市独自の職員の配置

- ・ 専属SC等 支援にアドバイスできる人材
- ・ 支援員 用務員等

- ・ 支援センターのノウハウ人材をいかす工夫

ご寄附のお願い



Topic 6



令和8年4月1日より 不登校支援に係るご寄附受付

令和9年開校の
学びの多様化学校へ

プレーホールや図書館
子どもたちの活動等に
支援します



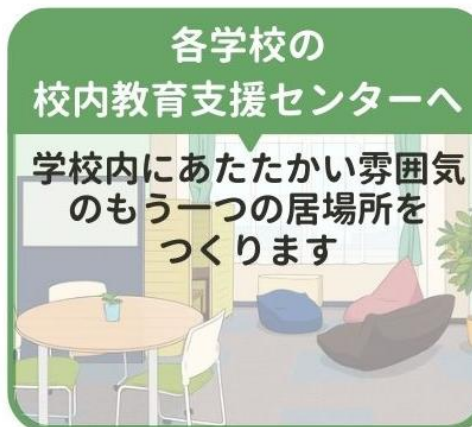
令和8年12月移転の
教育支援センターへ

通室生への活動支援や
環境整備に役立ってます



各学校の
校内教育支援センターへ

学校内にあたたかい雰囲気
のもう一つの居場所を
つくります



スポーツ・芸術分野の
全国大会に出場への補助



物品の寄附も承っています



上山きらり学園
の様子から
イメージを生成

居心地のよい環境づくり
支援に重要な要素

「物品」によるご寄附も受付

こどもたちの活動に必要なもの(例)



ソファー
明るい色のもの



ボードゲーム



まんが本
図鑑・図書

お問い合わせ：学校教育課まで



どの子にも 多様な学びの場を



おつ市HP
学びの多様化学校
設置事業



おつ市教育支援
センターHP



おつ市教育委員会事務局